



南部町立南部中学校 学校だより 第2号

チーム南部中

令和3年 4月28日(水)
校長 望月和彦

2年ぶりの峡南地区選手権大会

4月22日(木)24日(土), 峡南地区中学校選手権大会が行われました。昨年度はコロナに伴う臨時休業のために中止になった大会です。感染症の状況は決して改善していませんが、この大会を目標に一



生懸命がんばってきた生徒たちの思いを大切にしながら、昨年度の総体や新人戦でのコロナ対策をいかして「保護者やご家族の参観はなし。入学したばかりの1年生は選手以外参加なし。」という条件の下、可能な感染症対策を施した上での実施となりました。

各部、各選手が「優勝」「まずは1勝」「自分たちの力を出し切る」など、それぞれの目標を持ってこの大会に臨んだと思います。大会では当然のことながら、自分や自分のチームだけでなく、すべての選手やチームがその試合での勝利を目指して、当日に臨んでいます。最後まで負けないで「優勝」の栄冠を得るのは個人戦であれば1組。団体戦であれば1チームだけです。目標を達成した人もあれば、そうでない人もあったと思います。県大会への出場権を獲得した部については県大会に向

けて、地区で敗退したチームについては6月の総体に向けて、自分やチームの課題を明確にし、その課題を克服してさらにレベルアップしてほしいと思います。

ここですべての生徒に意識してほしいことは、「なぜ部活動をするのか」という目的をしっかりと持ってほしいということです。「バスケが上手になりたい」「ソフトテニスが上手になりたい」「楽器で好きな曲を演奏できるようになりたい」「絵が上手になりたい」

などなど技術的な目的もあると思いますが、それ以外に生きていく中で力となる何かを得るという目的を持ってほしいと思うのです。「目標目指して頑張る向上心を身につけたい」「苦しいことにも耐えられる力を身につけたい」「仲間と力を合わせて何かに取り組む喜びを感じたい」「強い体をつくりたい」「人前で堂々と行動できるようになりたい」「競技や芸術を通して大切な友だちをつくりたい」「自分に自信が持てるようになりたい」などです。本校の部活動は、技術面での目的と同時に、このような目的を生徒

たちに意識させながら取り組ませています。部活動を通して、人生に役立つ大切な力や心を身につけてくれることを期待しています。

今回の地区選手権大会の結果は以下の通りです。

嶽南選手権大会の結果	
野 球	Bパートで三珠中・六郷中合同チーム4-3で勝利し、「パート優勝」→ 県大会へ
男子バレーボール	三珠中、市川中ともに2-0で勝利し、「優勝」→ 県大会へ
女子バレーボール	予選リーグで市川中、身延中に勝利し、準決勝で六郷中に2-1で勝利、決勝は増穂中に0-2で敗退し、「準優勝」→ 県大会へ
女子ソフトテニス	個人戦：望月紗・前田組と望月玲・佐野結組がそれぞれ2勝し「ベスト8」 他の3組は1回戦敗退
男子ソフトテニス	個人戦：武川・芦川組が1回戦に勝利し2回戦敗退 他の2組は1回戦敗退
男子バスケットボール	増穂中と市川中に対戦し、ともに敗退
女子バスケットボール	増穂中と市川中に対戦し、ともに敗退

※ソフトテニスの地区選手権大会は県大会につながっていません。

2年生の県内めぐり



4月13日(火)14日(水)、2年生は1泊2日の県内めぐり(宿泊学習)に出かけてきました。2年生は昨年度いろいろな校外行事がコロナのため中止となってきましたが、やっとできた初めての校外行事です。学校出発時は雨模様で心配しましたが、2年生の気持ちが雨雲を撥ねのけ2日間とも楽しく充実した日々となりました。1日目はA・B組に分かれての県立美術館昇・県立考古博物館巡りでし。生徒たちは文学館で渡された資料に一生懸命に書き込んだり、シールを貼ったりと楽しそうに学んでいました。お昼も外で食べる事が

出来、弁当を和気あいあいと食べていました。宿泊先の愛宕山少年自然の家では、学年レクが大いに盛り上がり、2学年の仲の良さと、仲間とともに作り上げる楽しさを学んでいました。2日目はグループ別見学でした。出発時は少し緊張した様子でしたが、自分たちの計画に従い、仲間と協力して集合場所の鵜沢口駅にたどり着いた時の充実した表情が印象に残っています。集団生活の組織づくりや係活動、集団生活上のルールやマナーづくり、行事を仲間とともに協力して作り上げる楽しさなど、これからの学校生活を送るうえで、貴重な経験になったと思います。(内田勝久教頭)



部活動体験

1年生は5月7日に正式な入部を決定することになっています。それぞれの部活動の内容や雰囲気を知るために、4月9日から放課後、グループをつくりローテーションで様々な部活動の見学や体験をしています。1年生には3年間続けられそうな部をしっかりと考えて入部を決めてほしいと思います。



アシスト授業

本校は身延高校、身延中学校とともに「連携型中高一貫教育校」としての12の連携事業を行っています。その1つがアシスト授業です。4月20日から身延高校の遠藤佳宏先生が週2日、3年生2クラスの数学の授業に入って学習をサポートしてくれています。3年生に対するアシストは11月までで、12月からは2年生のサポートに入ってもらう予定です。

